

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成29年10月13日（金） 18時～20時
2. 開催場所：松山アーバンデザインセンター（愛媛県松山市湊町3-7-12）
3. 関係団体等：
主催：（公益社団法人）日本農芸化学会
共催：愛媛大学地域創成研究センター「まちなか大学」
日本学術会議農芸化学分科会
4. 役割
挨拶：清水 誠（東京農業大学、日本学術会議連携会員）
話題提供者（講演者）：話題1：奥山聡（松山大学薬学部）
話題2：菅原卓也（愛媛大学大学院農学研究科）
ファシリテーター（司会者）：寺谷亮司（愛媛大学・地域創成研究センター）
5. 概要：
講演1では奥山聡氏が「河内晩柑果皮の脳機能に及ぼす影響について」と題して柑橘類に含まれる成分の摂取がマウスの学習機能や記憶機能を改善することを紹介し、参加者全員が脳の仕組みと食の関わりについて理解を含めることができた。また、講演2では菅原卓也氏が「柑橘果皮成分の抗アレルギー効果と機能性食品開発について」と題して柑橘類のフラボノイド類が免疫系を調節する仕組みについて紹介し、さらに基礎研究の結果をどのようにして製品開発につなげるかについてわかりやすく解説した。会場には企業の方々も多く、大学との連携の在り方などについても活発な質疑が行われた。
6. 参加人数：
講演者等：4名
その他の参加者：約25名
7. 特記事項：
なし